

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和03年03月15日

計画の名称	吹田市内における都市公園等の安全・安心対策事業（防災・安全）												
計画の期間	平成27年度～平成31年度（5年間）								重点配分対象の該当				
交付対象	吹田市												
計画の目標	都市公園等における総合的な安全・安心対策を実施し、大規模災害に備えた市街地の防災性の向上を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	68	A	68	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H27当初	H29末	H31末
1	吹田市災害危険度判定調査で要整備地域と判断された地域内の11公園内に、災害時対応ができる施設を整備する。 災害時対応ができる施設を整備した公園の達成率 (整備済の公園数) / (11公園) × 100	64%	91%	100%
2	吹田市区域を1辺が280mのメッシュに区切り、各メッシュに消火栓以外の消防水利（耐震性貯水槽等）が1箇所以上あるように整備する。 耐震性貯水槽等の消防水利を整備した公園の達成率 (整備済の公園数) / (7公園) × 100	14%	54%	86%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="checkbox"/>	定住自立圏を含む	<input type="checkbox"/>	連携中枢都市圏を含む	<input type="checkbox"/>	流域水循環計画を含む	<input type="checkbox"/>	地域再生計画を含む	<input type="checkbox"/>
-----	-----------	-----------------------	----------	--------------------------	----------	--------------------------	------------	--------------------------	------------	--------------------------	-----------	--------------------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												H27	H28	H29	H30	H31				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	都市防災	一般	吹田市	直接	吹田市	—	—	吹田地区都市防災総合推進事業	マンホールトイレ、かまどベンチ等防災施設設置 4公園	吹田市	■	■	■	■		17		—	
												小計						17		
都市公園・緑地等事業	A12-002	公園	一般	吹田市	直接	吹田市	—	—	公園施設長寿命化対策支援事業	大井池公園等31公園における遊具施設等の改築	吹田市	■	■				0		策定済	
		H29～H31は「吹田市内における安全・安心な都市公園等の整備（防災・安全）」に移行。全体事業費は上記計画に記載。																		
												小計						0		
市街地整備事業	A13-003	都市防災	一般	吹田市	直接	吹田市	—	—	吹田地区都市防災総合推進事業	耐震性貯水槽設置 5箇所	吹田市	■	■	■	■	■	51		—	
												小計						51		
											合計						68			

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制

吹田市土木部及び消防本部にて評価を実施

事後評価の実施時期

令和3年3月

公表の方法

吹田市公園みどり室ホームページにより公表

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

・「災害危険度判定調査」により要整備地区と判定された地区内の街区公園に、災害時ライフラインが停止したときに最も必要となる夜間の明かりやトイレを確保する防災施設（ソーラー照明、マホール化、かまどベンチ、収納ベンチ）を整備したことにより、防災性を高めることに寄与した。また、地域住民には防災施設を活用した実践的な防災訓練として取り組んでいただき、地域の防災意識の向上に寄与した。さらに、地域の防災活動の活発化により、地域コミュニティの活性化にもつながった。

・吹田市区域を1辺が280mのメッシュに区切り、未整備となるメッシュへの耐震性貯水槽を整備したことにより、地域においても有効なものとなったことから、本市としての防災力が向上した。また、大規模又は通常災害を問わず、水利確保のため消防隊が有効活用できることはもちろん、地域住民による自主消火組織を設立し、当該交付金活用により整備した箇所へ可搬式小型動力ポンプを適宜配置した。これらの地域で定期的な自主消火訓練を行うことで、大規模災害発生時においても地域住民自らの初期消火が可能となったことから、地域の防災意識並びに地域防災力に寄与した。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

・地震等の大規模災害時や水道断水時における消火栓以外の消防水利を確保するため、今後も耐震性貯水槽の設置を推進し、地域防災力の向上を図る。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	災害時対応ができる施設を整備した公園の達成率	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%
2	耐震性貯水槽等の消防水利を整備した公園の達成率	
	最終目標値	86%
	最終実績値	86%